

ひだまり通信

< 第5回 救命講座 いざ!という時のために >

10月3日(金)に救命講座を行いました。所沢消防署富岡分署の渡辺救命士より、一次救命処置の必要性、心臓マッサージ・人工呼吸の実技とAEDの使用方を教えていただきました。

いざという時に、学んだことを家庭や地域で役立てたいと思います。

一次救命処置の必要性

救急車を呼び、現場に到着するまで何分かかかるかご存知でしょうか?平均で8分かかるといわれています。しかし、人は心肺停止状態になると脳に酸素が回らないため、15秒で意識を失い、3~4分で脳が回復不能になってしまいます。後遺症を残さないためにも、救急車が到着するまでの一次救命処置が最も重要です。



<心臓マッサージ>

傷病者の胸が5cmは沈み込むように、1分間に少なくとも100回、30回連続して強く、速く、絶え間なくしっかり胸骨を圧迫する。

胸を圧迫することで血流をつくるため、とにかく強く押すことが大切です。子どもの骨は大人よりも弾力があるため、骨折する心配はないそうです。



休日・夜間の病院案内や医療相談電話もあるので役立ててください。

埼玉西部消防局の休日・夜間病院案内

休日や夜間などに受診できる近くの病院・医院とその連絡先を案内します。

電話番号 04-2922-9292

(24時間体制/自動音声ガイダンス)



<AED使用方法>

AEDの電源を入れ、音声メッセージと点滅するランプに従って操作します。電気ショックが必要かどうか機械が判断してくれます。

AEDは誰でも簡単に操作できると分かりました。

埼玉県の医療相談

看護師の相談員から医療に関するアドバイスが受けられます。夜間の急な病気やけがで医療機関を受診するべきか迷った時にご利用ください。

小児用 #8000 ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の方は048-833-7911

<相談時間>

月曜日~土曜日 午後7時から翌朝午前7時まで

日曜日、祝祭日、年末年始 午前9時から翌朝午前7時まで